

9 月 補 正 事 業 計 画 書

令和5年度 [港湾 局]

事業名
13 款 1 項 5 目
土木関係修繕費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	284,496	41,000		2,390		82,000	159,106
執行見込額	324,496	61,000		2,390		102,000	159,106
今回補正額	40,000	20,000	0	0	0	20,000	0

【事業概要】

岸壁・護岸・道路・橋梁・荷捌き地・緑地等の点検調査により、劣化や損傷を把握した施設の補修及び修繕を行い、荷役作業や市民利用の安全確保と施設の機能を維持します。

【補正概要】

国庫補助事業の認証が当初予算に比べ増額になったことに伴い、補正を行います。

◆実施概要

○対象施設

汽車道・運河パーク遊歩道

・幅員：2.2～3.6m（地上部）/6.4～7.6m（橋梁部）

・延長：約550m

○施設概要

平成7～11年にかけて整備された汽車道・運河パーク遊歩道は、明治44年に開通した臨港鉄道の廃線跡のレールやトラス橋などの歴史的資産を活かした造りとなっており、桜木町駅から赤レンガ倉庫や象の鼻などへつながる歩行者ネットワークの一部として市民の皆様や訪日外国人旅客を含む多くの来街者に利用される施設です。

○改修概要

本施設は整備より20年以上が経過し老朽化が進行しているため、ウッドデッキ部の腐食した支持材を耐久性の高い鋼材に更新し、床材に滑り止め加工等を行うことで来街者が安全かつ快適にみなとみらいエリアを回遊できるよう、歩行環境の改善を行います。

○補助対象事業：40,000千円（うち国費1/2：20,000千円）

○実施時期：令和5年9月～令和6年3月

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
港湾施設維持補修業務	149,496		149,496	
港湾施設調査点検等業務	12,000		12,000	
港湾メンテナンス等事業	123,000	40,000	163,000	設計委託、改修工事
合 計	284,496	40,000	324,496	

【事業スケジュール】

汽車道・運河パーク遊歩道	R 5 年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計委託												
改修工事												

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

9 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 5 年度 [港湾 局]

事業名
13 款 2 項 1 目
本牧ふ頭再整備事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0	0					0
執行見込額	190,000	95,000				95,000	0
今回補正額	190,000	95,000	0	0	0	95,000	0

【事業概要】

本牧ふ頭A突堤・B突堤岸壁は、昭和43年から45年の整備後50年程度経過しており、舗装、栈橋下面、防食等の劣化が著しいことから、施設の継続的利用と安全性を確保するため、補修工事などを実施します。

【補正概要】

○岸壁補修（本牧ふ頭B 3 岸壁）
 国の令和 5 年度当初認証額に合わせて補正を行います。
 本牧ふ頭A突堤・B突堤のうちB 3 パースについて、過年度の調査設計で得られた成果をもとに岸壁補修工事を実施します。

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
岸壁補修（本牧ふ頭B 3 岸壁）	0	190,000	190,000	岸壁補修工事
合 計	0	190,000	190,000	

【事業スケジュール】

	令和 5 年度						
	9	10	11	12	1	2	3
岸壁補修（本牧ふ頭B 3 岸壁）	設計・契約手続						
	工事						
	← 関係者間調整			← 関係者間調整			

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

9 月 補 正 事 業 計 画 書

令和5年度 [港湾 局]

事業名
13款 2項 1目
大黒ふ頭自動車専用船岸壁改良事業

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	0	0					0
執行見込額	36,000	12,000				24,000	0
今回補正額	36,000	12,000	0	0	0	24,000	0

【事業概要】

完成自動車は、横浜港の主力輸出品目であり、大黒ふ頭は「東日本最大の自動車取扱拠点」となっています。自動車専用船の大型化や着岸隻数の増加に対応するため、自動車専用船岸壁の改良、コンテナターミナルの自動車ターミナルへの転換等を進めています。
また、客船の受入機能を強化するため、超大型客船の受入れも可能な多目的岸壁として、必要な施設整備を行っています。

【補正概要】

国庫補助事業の認証増に伴い、大黒ふ頭自動車専用船バース（T3～T4バース）において、既存照明施設のLED化を実施します。

【事業費の内訳】

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説明
照明施設整備工事	0	36,000	36,000	国庫補助事業の認証増
合 計	0	36,000	36,000	

【事業スケジュール】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
照明施設整備工事	●—————●					

*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。